

1. 職名・氏名 准教授 橋本直子

2. 学位 学位 博士(人間福祉)、専門分野 精神保健福祉、授与機関 関西学院大学大学院、  
授与年月 2016年3月

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（2単位 毎年開講） 3回生	
②内容・ねらい（自由記述） 精神保健福祉分野で働くソーシャルワーカーが必要とする価値・倫理、知識、技術及び関連知識を習得し、精神保健福祉サービスの利用者と援助の実際を理解し、精神保健福祉の実践家としての実践力を養う	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 事前学習において、対象者及び実践者を招聘し、体験や講義から現場の実際を学ぶようにしている。グループでの体験や学習の共有と共に個別での指導も重視している。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（2単位 毎年開講） 4回生	
②内容・ねらい（自由記述） 精神保健福祉分野で働くソーシャルワーカーが必要とする価値・倫理、知識、技術及び関連知識を習得し、精神保健福祉サービスの利用者と援助の実際を理解し、精神保健福祉の実践家としての実践力を養う	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 実習直前の事前学習・中間指導・事後学習において、個別やグループでの学習と振り返りをおこなう。学生のペースに合わせて個々人の指導を重点的に行う	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク実習（6単位 毎年開講） 4回生	
②内容・ねらい（自由記述） 精神保健福祉分野で働くソーシャルワーカーが必要とする価値・倫理、知識、技術及び関連知識を習得し、精神保健福祉サービスの利用者と援助の実際を理解し、精神保健福祉の実践家としての実践力を養う	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 実習が学生の学びと成長につながるよう学生の実習状況の把握に努め、実習指導者と連絡をとりながら個々の学生の理解度や特性にあわせて指導にあたっている。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健福祉制度論（4単位 毎年開講） 3回生 オムニバス講義（後期）	
②内容・ねらい（自由記述） 精神保健福祉の相談援助過程で必要とされる法制度や各種サービスについて理解する	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 制度が実践のどのような場面で活用されるか具体的にイメージできるよう事例を提示し、グループで調べ学びあい、制度の仕組みについて関心を深められるようにした。	

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク論Ⅱ（4単位 毎年開講） 3回生
②内容・ねらい（自由記述） 個別、集団へのソーシャルワークについて基本的な知識の習得をした上で、精神障害者特有の疾病及び障害に配慮した援助方法や技術についての理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） パワーポイントやビデオを用いて、講義の要点を理解しやすいようにした。また、グループでの課題やロールプレイを取り入れ、具体的な技術や内容がイメージできるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク演習（2単位 毎年開講） 4回生
②内容・ねらい 事例をとおり援助過程における専門的知識と技術の活用、実践家としての価値や倫理にもとづくふるまいを検討し、精神保健福祉の実践家として基礎的实践力を身につける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 前半は実践で具体的に役立つ知識と技術を学べるように様々な視点から検討ができるような事例を提示し、同メンバーのグループで毎回討論、ロールプレイ、発表報告を行い理解を深めた。後半は、実習での体験を省察し、価値や倫理・技術について実践への志向を高められるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会保障・社会福祉概説（2単位 毎年開講） 1回生 オムニバス講義
②内容・ねらい（自由記述） 生活問題を抱える人々へのソーシャルワークの視点やアプローチについて学び、主に医療現場での実際について理解を深める
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） パワーポイントやビデオを用いて、講義の要点を理解しやすいようにした。学生が社会福祉の問題を自分に引き寄せて考えられるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎演習（4単位 毎年開講） 2回生
②内容・ねらい（自由記述） ソーシャルワークの対象となる様々な問題をかかえる人々の暮らしや人生に関心を持ち理解を深めるとともに、社会について自分について考えをめぐらすこと。及び、レポート、レジュメ作成の基本的な方法とスキルを身につけ、発表、ディスカッションができるようになる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 学生自らの関心や考えを自由に表現できるようなテーマ設定や課題を提示したり、発表、ディスカッションをしやすいゼミの雰囲気をはげしく指導した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（4単位 毎年開講） 4回生
②内容・ねらい（自由記述） 自ら選択したテーマについて論文としてまとめる。論文作成における一連の研究手法を学習させる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 学生の主体性を重視し、サポートをした。前半はグループでの議論を通じて学生が自身のテーマへの関心を深められるようにした。また、後半は学生がお互いの研究を批判検討しながら、協力しあって各自の論文をまとめていけるように指導をおこなった。

<b>(2)非常勤講師担当科目</b>
①担当科目名 (単位数) 開講学校名
②内容・ねらい (自由記述)
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)
④本学における業務との関連性 (自由記述)
<b>(3)その他の教育活動</b>
2011 年度より基礎演習の学生を中心に福井刑務所や地域定着支援センターへの見学を実施し、地域の更生保護への理解を深めている

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>
①論文 (タイトル、共著者の有無 (共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名 (号数)、掲載 (受理) 年月日)
<p>アクティブシニアの ICT 利用とボランティア活動ー福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から 3ー」福井県立大学論集 49,1-14. 2017 年 8 月 舟木紳介、塚本利幸、橋本直子、永井裕子. 担当：聞き取り調査、調査データ分析</p> <p>アクティブシニアの ICT 利用とボランティア活動ー福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から 4ー」福井県立大学論集 49,15-44. 2017 年 8 月 塚本利幸、舟木紳介、橋本直子、永井裕子. 担当：聞き取り調査、調査データ分析</p> <p>アクティブシニアのボランティア活動参加と社会問題への関心ー福井県で実施したアンケート調査のデータ分析から 5ー 塚本利幸、舟木紳介、橋本直子、永井裕子. 担当：聞き取り調査、調査データ分析 福井県立大学論集 50, 27-58. 2018 年 8 月</p>
②著書 (タイトル、共著者の有無 (共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)
③学会報告等 (タイトル、報告学会 (大会) 名 (開催年月日)、共同報告者の有無 (共同報告の場合は主たる担当箇所)) ポスター発表 公募シンポジウム「子どもを中心に家族を支援するとは？ー虐待からのパラダイム転換と市町村が行なう支援の具体化の必要性」第 23 回日本子ども虐待防止学会学術集会ちば大会, 2017 年 12 月 3 日, 「子どもの要保護性と養育者のニーズのバランスー精神保健ケースと DV ケースを中心に」 畠山由佳子・橋本直子
④その他の公表実績
<b>(2)学会活動等</b>
<p>学会でのコメンテーター、司会活動 (担当報告名、担当学会 (大会) 名 (開催年月日))</p> <p>シンポジウム座長：アルコール依存症患者を支えるメディカルスタッフの役割」、平成 29 年度日本アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会、2017 年 9 月 8 日</p> <p>シンポジウム・分科会司会：「今、わたしたちにできること」・「家族支援」日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会第 34 回全国研究大会 in 金沢大会 2019 年 11 月 16 日、17 日</p>

学会での役職など（学会名）
学会・分科会の開催運営（担当学会（大会）名（開催年月日）、開催場所） 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会第34回全国研究大会 in 金沢大会 大会長 2019年11月16日、17日 石川教育会館、石川県地場産業振興センター
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
2017年度～2019年度 基盤研究（C）（一般） 350万円 研究分担
(5)特許出願

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） 福井県こども療育センター第三者委員 2012年1月～ 福井県再犯防止策定委員 委員 2018年10月～2019年3月 福井県アルコール健康障害対策検討委員会 委員 2019年10月～2020年3月 薬物依存のある刑務所出所者等の支援に関する地域連携連絡協議会 委員 2018年2月～
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） 一般社団法人 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 理事 2010年度～ 日本アルコール関連問題学会 東海北陸支部 評議員 2011年度～ NPO法人 福井ARC 理事 2015年～ 福井ARCを支援する会事務局 2013年～
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内の）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間） 新阿武山クリニック 月2回 精神保健福祉士業務 2010年～ 福井刑務所 月1回 薬物離脱指導（処遇カウンセラー）業務 2011年～
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間） 依存症セミナー 主催：ほっとサポート福井 講師 2012年度後期～（月1回） 社会福祉法人大野福祉会 所内研究会研修スーパーバイザー 2012年度～ 年4回 坂井地区障害児者総合支援協議会 精神障害者支援部会 アドバイザー 2013年～
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時） 『一步先の社会福祉学へ2017年』前期「第6回 依存症との向き合い方」、看護福祉学部棟N201、2017年6月18日 『一步先の社会福祉学へ2018年』前期「第2回 精神障がい者フットサルの取り組み～地域から世界へ～」、看護福祉学部棟N201、2018年6月23日 『社会福祉を考える』2019年 前期・後期 「第4回 関係性の構築を考える」 第174回 さばえライブラリーカフェ 「精神障がいからの回復～人生を物語ること～」 鯖江市文化の館 喫茶室 2019年10月10日

②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
（活動内容、主たる活動場所、活動期間）
平成 28 年度依存症教室及び事例検討会 講師 石川県こころの健康センター研修室（金沢市） 2016 年 6 月 14 日、10 月 18 日、2017 年 2 月 20 日
平成 28 年度薬物依存症からの回復を目指すワークショップ（家族教室） 講師 福井保護観察所 2016 年 6 月 14 日、10 月 18 日、12 月 2 日
平成 28 年度京都デイケア連絡会総会 講演 「SA とリカバリー」 宇治おうばく病院 2017 年 2 月 18 日
きづな会創立 47 周年記念大会 講演 「仲間と出会う」 高槻現代劇場 2017 年 3 月 20 日
平成 29 年度精神保健福祉従事者研修会 講師「精神障害者とその家族の理解と支援」 福井県社会福祉センター 2017 年 6 月 20 日
平成 29 年度生活支援員（コミュニティサポーター）連絡会研修会 講師 あわら市老人福 祉センター「一姫荘」 2017 年 6 月 27 日
平成 29 年度依存症教室及び事例検討会 講師 石川県こころの健康センター研修室（金沢市） 2017 年 9 月 12 日
平成 29 年度福井県看護協会教育委員会研修 講師「アディクション（嗜癖・依存症）の理解 と、看護の働きを考える」 福井県看護協会 2017 年 11 月 11 日
平成 29 年度薬物依存症からの回復を目指すワークショップ（家族教室） 講師 福井保護観察 所 2017 年 6 月 13 日、10 月 17 日、12 月 5 日
平成 29 年度第 1 回自殺対策研修会 講義と事例検討会 講師 二洲健康福祉センター講堂 2018 年 1 月 31 日
平成 30 年放送大学面接講義 講師「アディクション問題の理解と支援」 AOSSA 福井学習セン ター 2018 年 5 月 12 日、13 日
平成 30 年度精神保健福祉従事者研修会 講師「精神障害者とその家族の理解と支援」 福井県社会福祉センター 2018 年 6 月 20 日
SA 関西合同オープン・スピーカーズ・ミーティング「SA の回復と今後の展開」 基調講演 ク ロスパル高槻 2018 年 9 月 16 日
平成 30 年度滋賀湖北アディクションセミナー 講師「アディクションの基礎知識「アディク ションとは？」 滋賀県立文化産業交流会館 2018 年 11 月 27 日
平成 30 年度保護司特別研修会 講師 「薬物依存症～病気と回復の理解から～」 AOSSA 2018 年 12 月 11 日
平成 30 年度薬物依存症からの回復を目指すワークショップ（家族教室） 講師 福井県社会福 祉センター 2018 年 12 月 18 日
平成 30 年度滋賀湖北アディクションセミナー 講師「アディクションの基礎知識「アディク ションとは？」 滋賀県立文化産業交流会館 2019 年 3 月 1 日
日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会基礎研修 in 金沢 講師 石川県文教会館 2019 年 3 月 10 日
平成 31 年度精神保健福祉従事者研修会 講師「精神障害者とその家族の理解と支援」 福井県社会福祉センター 2019 年 5 月 20 日
勝山市事例検討会 講座講師「高齢者のアルコール依存とその対応」勝山市福祉健康センター 「すこやか」 2019 年 6 月 13 日
令和元年度滋賀湖北アディクションセミナー 講師 長浜保健センター 2019 年 10 月 24 日、 12 月 10 日
勝山市職員メンタルヘルス研修会 講師 「みじかなアディクション～アディクションの理解」 勝山市教育会館 2019 年 11 月 26 日

6. 大学の管理・運営

(1) 役職 (副学長、部局長、学科長)
(職名、期間)
(2) 委員会・チーム活動
(名称、期間) キャリアセンター連絡会議 2017年
(3) 学内行事への参加
(行事名、参加日時) 2017年度 オープンキャンパス参加 2019年度 オープンキャンパス参加
(4) その他、自発的活動など
(活動名、活動内容、活動期間) ハラスメント問題相談委員 2010年～ 国家試験支援委員 2018年～ 学科内キャリア関係担当 2018年～2019年 オープンキャンパス企画担当 2019年